

長瀬アルプスを歩き、宝登山の蜃梅を楽しむ（2024.02.13）

服部記



2月5日から6日にかけて結構な積雪になった。2-3日経っても日陰の道路の雪が消えず、次週火曜日13日の宝登山・長瀬アルプス縦走ハイキングの実施が気にかかる。以前丁度この時期に同じルートを歩いたことがある。その時は朝のうちは凍結しており滑りやすく、陽が当たり始めると溶けてドロドロの状態になっていて非常に歩きにくかった記憶がある。また、秩父へ行く国道も早朝は一部凍結している可能性がある。さてどうしようか、参加者に出発を遅らせコースを短縮

する案と実施日を先延ばしにする案のどちらがいいかを聞いてみる。全員、短縮案がいいという。それで縦走ルートを氷池ルートにショートカットし実施することになった。



9:50 宝登山大鳥居脇の駐車場に集合。500円/日。10:00 歩き始める。まず、宝登山神社に寄り、ハイキングの安全を祈願する。ところどころ積雪がまだ残っている。今回は登山道をたどらず、ジグザグの車道を登る。

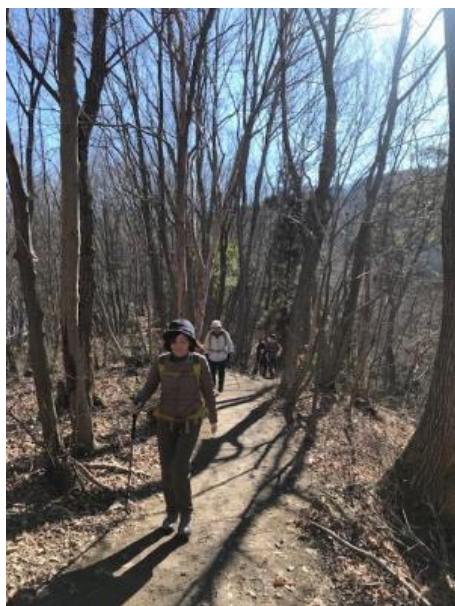


11：35 ほぼ予定通り山頂に着く。快晴で眺望もよく風もなく暖かい。山頂の残雪はなく地面は乾いている、ありがたい。両神山がくっきり見える。武甲山の碎石斜面に雪が残りキラキラ輝いている。平日にもかかわらず多くの蛸梅見物客・ハイカーが来ている。平日なので、シニア層が圧倒的に多い。

12：10 昼食を済ませ出発。宝登山の北東急斜面を降りる。実はこの箇所に雪が残り滑らないか一番心配していたが、積雪はほとんどない。12:30、宝登山入り口(毒キノコ看板脇)に降りる。



20分で降り切った。やはり下りは楽だ。しばらく、舗装道路を歩く。日陰の舗装道路には積雪が残り滑りやすい。注意が必要だ。12：45 奈良沢峠に着き、ここから長瀬アルプス縦走路を氷池分岐まで歩く。山道はところどころ、雪が解け、ぐちゃぐちゃになっている。13：05 氷池分岐到着。これからは氷池に向って降り一方だ。それまでは時々ハイカーとすれ違ったが、このルートは人気がないのかあまり知られていないのか誰にも会わない。



13：25 氷池に着く。この「氷池」は長瀬で有名な「阿左美氷蔵」で使用される氷の製造現場だ。池は沢の水をせき止めただけのコンクリート作りのプール状のものだ。必ずしもきれいだとは言えない。このプールを見てしまうと、夏には長蛇の列を作る阿左美氷蔵のかき氷を食べる気にならない(個人の感想です)。今年は氷を切り出した跡が見られない。やめたのかと思っていた。帰って阿左美氷蔵のHPを確認すると今年も1月中に一度切り出したとのこと。やっぱりここの氷を使うようだ。13：50、予定より少し早く駐車場に着く。長瀬駅でトイレを済まし14：10 次回の再会を期して解散する。今回は、女性3名男性4名の計7名の参加になった。次回は3月12日(火)仙元山(小川町)。今回参加しなかったメンバーもカタクリが待っているよ～、来てね。

<一部の写真は石谷さん提供。>